

第 91 回 統計委員会 議事概要

1 日 時 平成 27 年 9 月 17 日（木）10:47～11:34

2 場 所 中央合同庁舎 4 号館 12 階共用 1208 特別会議室

3 出席者

【委員】

西村委員長、北村委員長代理、川崎委員、西郷委員、津谷委員、中村委員、中山委員、野呂委員、廣松委員、宮川委員

【統計委員会運営規則第 3 条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所長、内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局長、財務省大臣官房総合政策課経済政策分析官、文部科学省生涯学習政策局政策課教育分析官、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省大臣官房調査統計グループ長、国土交通省総合政策局情報政策課長、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務局統計部長

【事務局等】

杉原内閣府大臣官房審議官、伊藤内閣府大臣官房統計委員会担当室長、上田内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、田家総務省政策統括官（統計基準担当）、吉牟田総務省政策統括官付統計企画管理官

4 議 事

- (1) 平成 26 年度統計法施行状況に関する審議結果報告書（第Ⅱ期基本計画関連分）について
- (2) 諮問第 80 号の答申「小売物価統計調査の変更について」
- (3) その他

5 議事概要

(1) 平成 26 年度統計法施行状況に関する審議結果報告書（第Ⅱ期基本計画関連分）について

基本計画部会で決定したとおり、修正については西村委員長が検討し、メール等を通じて委員の了解を得るプロセスを踏むという前提の下で了承された。

(2) 諮問第 80 号の答申「小売物価統計調査の変更について」

廣松サービス統計・企業統計部会長から、資料 2 に基づきサービス統計・企業統計部会における部会審議状況と答申案の内容説明が行われ、原案のとおり採択された。

また、廣松部会長から資料 2 の参考資料 1 のとおり部会長メモが読み上げられた。

また、欠席した前田委員から、「消費税除く指数の作成・公表」と「家賃の品質調整」で共通の認識を得たことは画期的。後者は長年の重要な課題でヘビーユーザーとして感慨深く、今後、関係者が、早期の統計作成・公表という目標を念頭におき、検討を進めることを希望」といった意見が提出され、事務局から紹介された。

主な発言は以下のとおり。

- ・ 6 ページの今後の課題の(2) 調査対象名簿（価格報告者台帳）に含まれている情報の一つである「経営組織」とは、具体的にどのようなものか。

- 調査対象名簿（価格報告者台帳）に示された経営組織については、個人、会社、農業協同組合、生活協同組合、その他の 5 区分で把握している。なお、調査事項ではなく、調査上の必要事項として把握している。

- 価格報告者台帳に関しては、今までは調査を行う上での実務的資料として使われてきたが、今後、その整備を図った上で、統計の作成に活用することが有用であると考え、今後の課題の一つとして挙げた。

- ・ 部会長メモの最後に「住宅に関する統計の体系的整備」とある。確かに今回審議した中で、住宅の品質劣化の重要性を裏付けるパネルデータが不足しており、経済学的な実証が難しいことが明らかになった。データの整備も含め、是非考えていただきたい。

- 今後の統計委員会の運営の中で取り上げていきたい。

- 補足として、部会においては新築の扱いについて問題提起があったが、基礎となる住宅関連の統計がないままでは検討は困難という指摘もあった。

- 部会長メモは準答申とでも言うくらい重要なものである。調査実施者はきちんと受け止め、前進させていただきたい。

(3) その他

北村匿名データ部会長から、資料 3 に基づき匿名データの作成に係る年次手続の簡素化についての提案が行われ、それに対して指摘があった箇所については委員長一任で適宜修正するという前提の下で採択された。また、匿名データ作成に係る技術的な研

究が必要との北村部会長の指摘については、事務局で対応を検討することとされた。

主な発言は以下のとおり。

- ・1の②の最後にアンダーコーディングとあるが、ボトムコーディングではないか。
→その点については確認を取って適宜修正したい。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>